

事業計画書

団 体 名		特定非営利活動法人陽だまりの会
事 業 名 称		精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）
事 業 実 施 期 間		（準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。） 2025年4月1日 ～2026年3月31日
1. 事業の目的	長期的な視点（複数年単位）で記入	（1）取り組みたい課題（解決したい社会問題等の現状を記入すること） 精神障害者に対する社会的な理解を深め、障害者が差別なく暮らすことのできる社会を目指す。
		（2）動機・きっかけ（課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること） 世界的に突出している精神科病床の多さ、入院期間の長さ、その結果社会的な排除を受けている精神障害者の多さ。
		（3）取り組みたい課題の原因（団体が考える社会問題等の原因を記入すること） 精神病者や精神障害の社会的理解が進んでいないこと。精神科病院の多さが容認される社会的な構造が変わらないこと。
		（4）取り組みたい課題の解決・改善策（団体が考える改善策等を記入すること） 精神障害者と直に交流したり、精神障害や精神病への理解を深めたりすることにより、少しでも社会的な偏見が軽減すると期待できる。
	事業実施期間の視点（単年度）で記入	（5）申請事業の目的（今回申請を行う事業の目的を記入すること） 精神障害者が交流できる場所を設け、精神障害者が「怖い人」ではない等の理解を深めてもらう。また正しい知識を得ることにより偏見の払拭を図る。
		（6）申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞（誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること） 市民の精神障害への偏見が少しでも軽減する。 ＜確認方法＞（参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること） 交流会（地域ふれあいまつり）については受付時に参加数を確認。 講演会については受付時に参加者数を確認して、アンケートを実施。

2. 事業内容等	(1) 事業の対象者（例：枚方市内に住む 10 代から 20 代の人 など具体的に） 枚方市に在住・在職・在学する市民。障害者の問題や社会問題に関心のある方。 年齢不問。
	(2) 事業の実施場所（移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること） 交流会については陽だまりの会の敷地内及び施設内。 講演会については、ラポールひらかた等の貸会場。
	(3) 事業内容 1 1 月に交流会（地域ふれあいまつり） 市内の障害者事業所にも呼びかけて模擬店等を開催し、市民と利用者等の障害者が自由に参加し交流できる場とする。 秋以降に講演会またはシンポジウム（1 回） 精神障害者の現状・課題やダイバーシティ等について分かりやすく話せる方（当事者も含む）を講師として招き、講演の中で市民の理解を図る。
3. 実施スケジュール	（事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること）※添付も可 4 月に講演会の実行委員会を設置し、講演内容の詳細、講師・会場の選定 実施 1 か月前までにチラシを作成 ⇒ 宣伝 ⇒ 実施。 9 月に交流会（地域ふれあいまつり）の実行委員会を設置。内容を検討。 1 か月前までにミニコミ誌・チラシを作成し配布。1 1 月 1 日に実施（予定）。
4. 事業実施の体制	(1) 人員体制（実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること） 陽だまりの会の職員と会員・利用者等のボランティアで実施する。 地域ふれあいまつりはこの間ほぼ毎年実施。 講演会は、本事業として昨年度は「やどかりの里」の職員・ピアサポーターを招いて実施し、本年度は斎藤環氏（筑波大名誉教授）を講師として実施、盛況だった。
	(2) 事業対象者の見込み数（例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること） 地域ふれあいまつり（交流会）は、140 人程度 講演会は、50～100 人
	(3) その他の体制（寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること） 交流会（地域ふれあいまつり）は、近隣の障害者支援事業所にも呼びかけ、模擬店等の協力をいただいている。 交北校区コミュニティ協議会にも模擬店や地域周知の協力をお願いしている。
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	（賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること） 交流会（地域ふれあいまつり）については、継続的に地域のコミュニティ協議会や各障害者支援団体との関係を継続し、ともにまつりを継続する関係を進める。 講演会については、今後は各種助成金への申請等も検討する。

6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	地域ふれあいまつりについては20年以上にわたって継続してきた。一昨年から宣伝用のチラシをカラーで印刷していたが、今年は予算の関係で手刷りにする予定。 講演会は新聞社の文化欄担当にも資料を送り反応もあったが、掲載前に定員超過となってしまった。
7. 事業のPR方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) 地域ふれあいまつりについては、コミュニティ協議会の協力で地域に回覧板で回覧してもらう他、直接職員・会員・利用者等がボランティアで配布、ホームページ等でもお知らせをする。 講演会についてはホームページ等で周知を図り、生涯学習支援センター等の公的機関や医療機関・地域包括支援センター・地域活動支援センター等の関係機関にチラシを配布するほか、マスコミ等にも情報提供をおこなう。広報ひらかたの短信コーナーにも掲載依頼予定。
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 有り（申請中を含む） ・ 無し（本補助金のみ） 助成金等の名称（ ） 申請中の場合、申請結果が確定する予定日（ 令和 年 月 頃の見込み）
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	

事業収支予算書

団体名：特定非営利活動法人陽だまりの会

補助対象事業の名称：	精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）
------------	--------------------------

事業実施期間：2025年4月～2026年3月

【収入の部】

項 目 ※1	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金(一般)(A)	50,000	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金(団体)(B)	55,000	補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金	50,000	会費
合 計 (C)	155,000	

【支出の部】

項 目	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
補助対象経費	人件費	10,000 職員従事費(地域ふれあいまつり講演会各1人5,000円)
	謝金	100,000 講師・演者謝礼(講演会講師1人9万円、地域ふれあいまつり演者1人1万円(交通費含む)予定)
	消耗品費	10,000 景品(地域ふれあいまつり)・文具他
	印刷製本費	20,000 チラシ(講演会用、2,500部12,000円)・ミニコミ(地域ふれあいまつり用、色上質紙2,500枚6,500円)・資料(講演会用、コピー紙1,500円)等
	使用料及び賃借料	15,000 会場費・音響設備費等
小 計 (E)	155,000	
補助対象外経費		
小 計	0	
合 計 (D)	155,000	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)